

## 9 準専門家派遣拠出金

【令和7年度予算概算決定額 46（20）百万円】

### 〈対策のポイント〉

世界の食料安全保障確保のため、国際連合食糧農業機関（FAO）に専門家を派遣し人的及び技術的支援を行う。

### 〈事業目標〉

日本が有する農林水産分野における専門的な知見・技術をFAOの施策等に反映及び国際人材の育成

### ＜事業の内容＞

#### FAOへの準専門家派遣 46百万円

日本とFAOの連携強化、国際的なルール策定等に向け、日本の技術・知見・施策を活用した貢献を行うため、FAOの準専門家派遣制度に継続して参加し、**FAOの上級専門家を補佐する準専門家を派遣します。**

#### 〈参考：国際連合食糧農業機関とは〉

- FAOは1945年に設立。194カ国が加盟する国連機関。
- 以下の施策を通じた世界経済の発展と人類の飢餓からの解放を目的に活動。
  - ・世界各国国民の栄養水準・生活水準の向上
  - ・食料・農産物の生産・流通の改善
  - ・農村住民の生活状況の改善
- 日本は世界第3位の分担金拠出国（2024-2025年）。
- 日本は1973年からFAOへの準専門家派遣を継続的に実施。

### 〈事業の流れ〉



### ＜事業イメージ＞

- 日本から準専門家として2名をFAOに派遣。
- 派遣した準専門家が中心となり、以下の活動を実施。
  - ・ 日本とFAOの連携強化のための戦略協議や拠出金事業の円滑な実施支援。
  - ・ 気候変動や環境汚染等の国際的な課題において、日本の技術・知見・施策を活用。



令和5年度に実施された日・FAO年次戦略協議

- 日本とFAOの連携が強化され、日本の施策等がFAOの取組に反映される。
- FAOへの人的・技術的支援により、世界及び日本の食料安全保障の確保に貢献する。
- FAOでの業務経験を通じ国際人材を育成する。

【お問い合わせ先】（1）輸出・国際局 新興地域グループ （03-3502-5913）  
（2）輸出・国際局 国際戦略グループ （03-3502-8498）